

研究課題名	骨転移診療患者における生命予後および臨床経過の研究
研究機関名	武藏野赤十字病院
研究責任者	所属 整形外科 氏名 石橋祐貴
研究期間	(西暦) 2025年9月 ~ (西暦) 2028年4月
研究の意義・目的	がん治療の進歩により、患者さんの生存期間が延び、それに伴って骨転移を診療する機会が増えています。 骨転移は、患者さんの生活の質（QOL）を著しく低下させ、病的な骨折や神經麻痺などの重篤な合併症を引き起こす可能性がある。そのため、骨転移診療を適切に行うことは、患者さんの苦痛を和らげ、より良い生活を送っていただく上で非常に重要である。 特に、骨転移患者さんの予後や、がん治療の臨床経過を詳細に分析することは、今後の骨転移診療の発展に不可欠である。これらの研究は、個々の患者さんに最適な治療法を選択するための根拠を提供する可能性がある。したがって、骨転移患者さんの生命予後と臨床経過を研究することは、医学的に非常に意義のあることだと言える。
研究の方法 (対象期間含む)	通常の診療で既に取得された診療情報を収集、分析する単独・後向きコホート研究 予定研究対象者数：骨転移に対して整形外科で診療を受けた患者40名をEZRによる統計解析 データ抽出対象期間：2014年4月～2023年12月 研究期間：2025年9月～2028年4月
①試料・情報の利用目的および利用方法 ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③試料・情報の取得の方法 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①上記研究の方法と同じ ②患者基本情報：生年月日、性別、診断名、手術術式、手術日、治療方法、臨床経過、死亡の有無など ・血液検査結果（白血球、赤血球、血小板、アルブミン、LDH、総ビリルビン、カルシウム、CRPなど） ③電子カルテ内の情報を抽出 ④研究責任者、研究分担者 ⑤武蔵野赤十字病院 整形外科 石橋 祐貴 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 整形外科 氏名 石橋祐貴 TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525